



2018年10月25日

会社名 株式会社日立ハイテクノロジーズ
 代表者名 執行役社長 宮崎 正啓
 (コード番号：8036、東証第一部)
 CSR・コーポレート
 問い合わせ先 コミュニケーション 桑原 満
 部長
 (電話：03-3504-5138)

2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 調整後 営業利益※1 | | EBIT※2 | | 税引前利益 | | 四半期利益 | | 親会社株主に 帰属する四半期利益 | |
|---------------|---------|------|---------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 363,089 | 8.2 | 35,760 | 29.7 | 33,973 | 25.4 | 34,219 | 25.6 | 24,692 | 21.8 | 24,554 | 21.6 |
| 2018年3月期第2四半期 | 335,590 | 10.1 | 27,566 | △3.5 | 27,096 | △0.7 | 27,238 | △0.7 | 20,277 | △2.9 | 20,200 | △3.3 |

| | 基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益 | 希薄化後1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益 |
|---------------|---------------------------------|----------------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 178.54 | — |
| 2018年3月期第2四半期 | 146.88 | — |

※1 当社は「営業利益」に代え、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標である「調整後営業利益」を表示しております。

※2 EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略であり、税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値であります。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社株主持分 | 親会社株主持分比率 |
|---------------|---------|---------|---------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 641,118 | 409,992 | 409,392 | 63.9 |
| 2018年3月期 | 623,335 | 390,494 | 390,063 | 62.6 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 40.00 | — | 45.00 | 85.00 |
| 2019年3月期 | — | 45.00 | — | — | — |
| 2019年3月期(予想) | — | — | — | 50.00 | 95.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上収益 | | 調整後 営業利益 | | EBIT | | 税引前利益 | | 親会社株主に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益 |
|----|---------|-----|-------------|------|--------|------|--------|------|--------------------|------|--------------------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 750,000 | 9.1 | 63,000 | 13.5 | 63,000 | 14.1 | 63,000 | 13.3 | 45,000 | 10.1 | 327.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項
会計方針の変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.13「2. 要約四半期連結財務諸表(5)要約四半期連結財務諸表注記」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--|-------|
| 1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | P. 2 |
| (1) 業績の状況 | P. 2 |
| (2) キャッシュ・フローの状況 | P. 2 |
| (3) 今後の見通し | P. 3 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | P. 4 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | P. 8 |
| (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 10 |
| (5) 要約四半期連結財務諸表注記 | P. 12 |

1. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益363,089百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比8.2%増)、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)33,973百万円(前年同期比25.4%増)、税引前四半期利益34,219百万円(前年同期比25.6%増)、親会社株主に帰属する四半期利益24,554百万円(前年同期比21.6%増)となりました。

②セグメント別の概況

科学・医用システム

科学システム(電子顕微鏡・科学機器)は、新製品の拡販や日立ハイテクアナリティカルサイエンスの設立により増加しました。

バイオ・メディカルは、中国を中心としたアジア市場での需要が堅調に推移するとともに、顧客とのサプライチェーンにおける在庫調整が終了したことにより大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は98,330百万円(前年同期比12.3%増)、EBITは13,272百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

電子デバイスシステム

プロセス製造装置は、次世代先端プロセス投資向けに販売が堅調に推移し増加しました。

評価装置は、メモリー量産投資向けに販売が好調に推移したことから大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は80,200百万円(前年同期比14.4%増)、EBITは20,786百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

産業システム

社会インフラは、太陽光EPC大口案件の減少などにより大幅に減少しました。

産業インフラは、液晶露光装置の大口案件の取り込みにより大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は38,511百万円(前年同期比14.0%増)、EBITは311百万円(前年同期より1,232百万円増)となりました。

先端産業部材

素材・エレクトロニクスは、素材関連取引が好調に推移し大幅に増加しました。

自動車・輸送機は、自動車部品関連取引の拡大により大幅に増加しました。

エネルギー・産業は、光通信関連部材の販売減などにより大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は149,983百万円(前年同期比1.7%増)、EBITは2,174百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より17,759百万円増加し、210,120百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

営業活動に関するキャッシュ・フローは、営業債権、棚卸資産、営業債務等の運転資金増減における支出が増加しましたが、四半期利益が増加したこと、及び法人所得税の支払が減少したこと等により、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べ13,513百万円増加し、24,835百万円の収入となりました。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

投資活動に関するキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得等による支出が増加しましたが、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出がなかったこと等により、前年同期に比べ6,190百万円支出が減少し、2,565百万円の支出となりました。

以上により、営業活動に関するキャッシュ・フローと投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、前年同期に比べ19,703百万円増加し、22,270百万円の収入となりました。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

財務活動に関するキャッシュ・フローは、配当金の支払が増加した一方、その他の財務活動に関わる支出が減少したことにより、前年同期に比べ896百万円支出が減少し、6,279百万円の支出となりました。

(3) 今後の見通し

日本では個人消費及び企業の堅調な設備投資により緩やかな景気の回復が持続しています。米国においても経済成長が続くと予想されますが、米国と各国との貿易摩擦による影響が懸念されます。欧州では引き続き緩やかな景気回復局面にあります。英国のEU離脱交渉の動向が不安材料となっています。中国では経済成長が継続し、また新興国でも景気が緩やかな回復傾向にあると予想されます。

当社を取り巻く事業環境は、科学・医用システム関連市場では、科学システムにおいて電子デバイス関連や環境・新エネルギー分野向けの需要の増加が期待され、バイオ・メディカルにおいては、価格競争は厳しくなるものの市場全体は堅調に推移すると予想されます。半導体製造装置市場では、一部メモリー顧客における投資計画延伸の影響が懸念されます。産業システム関連市場では、社会インフラ及び産業インフラにおいて引き続き堅調な設備投資が予想されます。先端産業部材関連市場では、素材関連や自動車関連部材が堅調に推移すると予想されます。

当社の通期の連結業績予想は、電子デバイスシステムにおいて半導体製造装置の受注が当初予想よりも減少していることや当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び今後の見通しを踏まえ、前回予想を次の通り修正しております。

2019年3月期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

| | 売上収益 | 調整後 営業利益 | EBIT | 税引前利益 | 親会社株主 に帰属する 当期利益 | 基本的1株 当たり 親会社株主 に帰属する 当期利益 |
|----------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 780,000 | 百万円 63,000 | 百万円 63,000 | 百万円 63,000 | 百万円 45,000 | 円 銭 327.21 |
| 今回修正予想 (B) | 750,000 | 63,000 | 63,000 | 63,000 | 45,000 | 327.21 |
| 増減額 (B - A) | △30,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| 増減率 (%) | △3.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| (ご参考) 前期連結実績 (2018年3月期) | 687,670 | 55,519 | 55,236 | 55,588 | 40,882 | 297.27 |

当社グループでは、2020年に向けてさらなる成長を加速させるため、2016年度から2018年度までの「中期経営戦略」を策定し、事業ポートフォリオ戦略にもとづく具体的な戦略及び施策を展開しています。

今後も、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業としてお客様視点に立ち、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成をめざしていきます。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 192,361 | 210,120 |
| 営業債権 | 159,338 | 153,622 |
| 有価証券及びその他の金融資産 | 20,797 | 12,463 |
| 棚卸資産 | 116,526 | 124,213 |
| 未収法人所得税 | 424 | 315 |
| その他の流動資産 | 6,090 | 9,573 |
| 流動資産合計 | 495,537 | 510,306 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 73,809 | 76,102 |
| 無形資産 | 16,951 | 16,759 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 1,182 | 1,298 |
| 営業債権 | 896 | 1,242 |
| 有価証券及びその他の金融資産 | 12,926 | 11,891 |
| 繰延税金資産 | 20,749 | 22,152 |
| その他の非流動資産 | 1,286 | 1,369 |
| 非流動資産合計 | 127,798 | 130,813 |
| 資産合計 | 623,335 | 641,118 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務 | 132,091 | 124,364 |
| その他の金融負債 | 18,642 | 17,182 |
| 未払法人所得税 | 5,037 | 7,996 |
| 未払費用 | 25,409 | 24,709 |
| 前受金 | 20,960 | — |
| 契約負債 | — | 26,953 |
| 引当金 | 1,605 | 1,702 |
| その他の流動負債 | 1,778 | 49 |
| 流動負債合計 | 205,521 | 202,956 |
| 非流動負債 | | |
| その他の金融負債 | 420 | 176 |
| 退職給付に係る負債 | 23,177 | 24,181 |
| 引当金 | 2,059 | 2,159 |
| 繰延税金負債 | 821 | 814 |
| その他の非流動負債 | 844 | 840 |
| 非流動負債合計 | 27,320 | 28,170 |
| 負債合計 | 232,841 | 231,126 |
| 資本の部 | | |
| 親会社株主持分 | | |
| 資本金 | 7,938 | 7,938 |
| 資本剰余金 | 35,662 | 35,662 |
| 利益剰余金 | 334,931 | 353,372 |
| その他の包括利益累計額 | 11,894 | 12,785 |
| 自己株式 | △362 | △365 |
| 親会社株主持分合計 | 390,063 | 409,392 |
| 非支配持分 | 431 | 601 |
| 資本合計 | 390,494 | 409,992 |
| 負債及び資本合計 | 623,335 | 641,118 |

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上収益 | 335,590 | 363,089 |
| 売上原価 | △256,256 | △269,307 |
| 売上総利益 | 79,333 | 93,782 |
| 販売費及び一般管理費 | △51,768 | △58,022 |
| 調整後営業利益 | 27,566 | 35,760 |
| その他の収益 | 149 | 394 |
| その他の費用 | △237 | △515 |
| 営業利益 | 27,477 | 35,639 |
| 金融収益 | 130 | 53 |
| 金融費用 | △642 | △1,769 |
| 持分法による投資損益 | 131 | 49 |
| 受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益 | 27,096 | 33,973 |
| 受取利息 | 179 | 267 |
| 支払利息 | △37 | △20 |
| 税引前四半期利益 | 27,238 | 34,219 |
| 法人所得税費用 | △6,961 | △9,527 |
| 四半期利益 | 20,277 | 24,692 |
| 四半期利益の帰属： | | |
| 親会社株主持分 | 20,200 | 24,554 |
| 非支配持分 | 77 | 138 |
| 合計 | 20,277 | 24,692 |
| 1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益： 基本的及び希薄化後1株当たり親会社株主に 帰属する四半期利益(円) | 146.88 | 178.54 |

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------------------------|---|---|
| 四半期利益 | 20,277 | 24,692 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に組み替えられない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額 | 705 | △322 |
| 純損益に組み替えられない項目合計 | 705 | △322 |
| 純損益に組み替えられる可能性がある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | 2,129 | 1,749 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額 | 111 | △583 |
| 持分法によるその他の包括利益 | — | 26 |
| 純損益に組み替えられる可能性がある項目合計 | 2,240 | 1,191 |
| その他の包括利益合計 | 2,945 | 869 |
| 四半期包括利益 | 23,222 | 25,561 |
| 四半期包括利益の帰属： | | |
| 親会社株主持分 | 23,133 | 25,445 |
| 非支配持分 | 89 | 116 |
| 合計 | 23,222 | 25,561 |

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | その他の包括利益累計額 | | |
|------------|-------|--------|---------|--------------------------------|------------|--------------|
| | | | | その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額 | 確定給付制度の再測定 | 在外営業活動体の換算差額 |
| 2017年4月1日 | 7,938 | 35,662 | 303,136 | 3,681 | 3,191 | 3,726 |
| 四半期利益 | | | 20,200 | | | |
| その他の包括利益 | | | | 705 | | 2,117 |
| 四半期包括利益 | — | — | 20,200 | 705 | — | 2,117 |
| 自己株式の取得 | | △0 | | | | |
| 配当金 | | | △6,189 | | | |
| 非金融資産等への振替 | | | | | | |
| 所有者との取引額合計 | — | △0 | △6,189 | — | — | — |
| 2017年9月30日 | 7,938 | 35,662 | 317,148 | 4,386 | 3,191 | 5,843 |

(単位：百万円)

| | その他の包括利益累計額 | | 自己株式 | 親会社株主持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|------------|-------------------------|---------------|------|-----------|-------|---------|
| | キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額 | その他の包括利益累計額合計 | | | | |
| 2017年4月1日 | △66 | 10,532 | △356 | 356,913 | 292 | 357,205 |
| 四半期利益 | | — | | 20,200 | 77 | 20,277 |
| その他の包括利益 | 111 | 2,933 | | 2,933 | 12 | 2,945 |
| 四半期包括利益 | 111 | 2,933 | — | 23,133 | 89 | 23,222 |
| 自己株式の取得 | | — | △3 | △3 | | △3 |
| 配当金 | | — | | △6,189 | | △6,189 |
| 非金融資産等への振替 | △220 | △220 | | △220 | | △220 |
| 所有者との取引額合計 | △220 | △220 | △3 | △6,411 | — | △6,411 |
| 2017年9月30日 | △175 | 13,245 | △358 | 373,635 | 381 | 374,016 |

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | その他の包括利益累計額 | | |
|------------------|-------|--------|---------|--------------------------------|------------|--------------|
| | | | | その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額 | 確定給付制度の再測定 | 在外営業活動体の換算差額 |
| 2018年3月31日 | 7,938 | 35,662 | 334,931 | 2,601 | 5,307 | 3,825 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 75 | | | |
| 2018年4月1日 | 7,938 | 35,662 | 335,007 | 2,601 | 5,307 | 3,825 |
| 四半期利益 | | | 24,554 | | | |
| その他の包括利益 | | | | △322 | | 1,796 |
| 四半期包括利益 | — | — | 24,554 | △322 | — | 1,796 |
| 自己株式の取得 | | △0 | | | | |
| 配当金 | | | △6,189 | | | |
| 非支配持分の取得及び処分 | | | | | | |
| 所有者との取引額合計 | — | △0 | △6,189 | — | — | — |
| 2018年9月30日 | 7,938 | 35,662 | 353,372 | 2,280 | 5,307 | 5,621 |

(単位:百万円)

| | その他の包括利益累計額 | | 自己株式 | 親会社株主持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|------------------|-------------------------|---------------|------|-----------|-------|---------|
| | キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額 | その他の包括利益累計額合計 | | | | |
| 2018年3月31日 | 161 | 11,894 | △362 | 390,063 | 431 | 390,494 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | — | | 75 | | 75 |
| 2018年4月1日 | 161 | 11,894 | △362 | 390,139 | 431 | 390,569 |
| 四半期利益 | | — | | 24,554 | 138 | 24,692 |
| その他の包括利益 | △583 | 891 | | 891 | △21 | 869 |
| 四半期包括利益 | △583 | 891 | — | 25,445 | 116 | 25,561 |
| 自己株式の取得 | | — | △3 | △3 | | △3 |
| 配当金 | | — | | △6,189 | | △6,189 |
| 非支配持分の取得及び処分 | | — | | — | 54 | 54 |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △3 | △6,192 | 54 | △6,138 |
| 2018年9月30日 | △423 | 12,785 | △365 | 409,392 | 601 | 409,992 |

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|----------------------------------|---|---|
| 営業活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 四半期利益 | 20,277 | 24,692 |
| 四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整 | | |
| 減価償却費及び無形資産償却費 | 5,696 | 6,347 |
| 減損損失 | 59 | 114 |
| 法人所得税費用 | 6,961 | 9,527 |
| 持分法による投資損益 | △131 | △49 |
| 受取利息 | △179 | △267 |
| 受取配当金 | △74 | △52 |
| 支払利息 | 37 | 20 |
| 有形固定資産、無形資産の売却等損益 | 139 | 370 |
| 営業債権の増減 | 5,996 | 8,680 |
| 棚卸資産の増減 | △2,441 | △6,670 |
| 営業債務の増減 | △4,947 | △10,307 |
| 前受金の増減 | △783 | — |
| 契約負債の増減 | — | 3,983 |
| 退職給付に係る負債の増減 | △876 | △665 |
| その他 | △3,857 | △3,728 |
| 小計 | 25,877 | 31,998 |
| 利息の受取 | 183 | 259 |
| 配当金の受取 | 74 | 52 |
| 利息の支払 | △37 | △20 |
| 法人所得税の支払 | △14,851 | △7,552 |
| 法人所得税の還付 | 75 | 99 |
| 営業活動に関するキャッシュ・フロー | 11,322 | 24,835 |
| 投資活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金及び預け金の預入 | △11,000 | △5,000 |
| 定期預金及び預け金の払戻 | 25,000 | 12,500 |
| 有形固定資産の取得 | △7,264 | △8,423 |
| 無形資産の取得 | △1,036 | △1,394 |
| 有形固定資産の売却 | 31 | 17 |
| 無形資産の売却 | 4 | — |
| 有価証券及びその他の金融資産の取得 | △4,413 | △438 |
| 有価証券及びその他の金融資産の売却及び償還 | 196 | 165 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 | △10,209 | — |
| その他 | △63 | 8 |
| 投資活動に関するキャッシュ・フロー | △8,755 | △2,565 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------------|---|---|
| 財務活動に関するキャッシュ・フロー | | |
| 非支配持分株主からの払込 | — | 54 |
| 配当金の支払 | △6,186 | △6,189 |
| 非支配持分株主への配当金の支払 | △20 | △80 |
| 自己株式の取得 | △3 | △3 |
| その他 | △966 | △62 |
| 財務活動に関するキャッシュ・フロー | △7,175 | △6,279 |
| 現金及び現金同等物に係る為替変動による影響 | 1,252 | 1,768 |
| 現金及び現金同等物の増減 | △3,356 | 17,759 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 189,783 | 192,361 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 186,427 | 210,120 |

(5) 要約四半期連結財務諸表注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの収益及び損益

報告セグメントの収益及び損益は以下の通りであります。セグメント損益は、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)であります。

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 調整額 | 要約四半期 連結損益計 算書計上額 |
|-----------------|---------------|--------------------|------------|------------|---------|-------------|--------|-------------------------|
| | 科学・医用 システム | 電子 デバイス システム | 産業 システム | 先端産業 部材 | 計 | | | |
| 売上収益 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上収益 | 87,303 | 69,989 | 32,342 | 144,875 | 334,509 | 531 | 550 | 335,590 |
| セグメント間の 売上収益 | 275 | 141 | 1,444 | 2,578 | 4,439 | 540 | △4,979 | — |
| 計 | 87,578 | 70,130 | 33,787 | 147,454 | 338,949 | 1,071 | △4,430 | 335,590 |
| セグメント損益 | | | | | | | | |
| EBIT | 9,672 | 17,844 | △920 | 1,888 | 28,484 | △455 | △933 | 27,096 |
| 受取利息(注2) | 123 | — | — | — | 123 | — | 56 | 179 |
| 支払利息(注2) | — | △6 | △34 | △98 | △138 | △3 | 104 | △37 |
| 税引前四半期利益 | 9,795 | 17,838 | △954 | 1,790 | 28,469 | △458 | △773 | 27,238 |

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 調整額 | 要約四半期 連結損益計 算書計上額 |
|-----------------|---------------|--------------------|------------|------------|---------|-------------|--------|-------------------------|
| | 科学・医用 システム | 電子 デバイス システム | 産業 システム | 先端産業 部材 | 計 | | | |
| 売上収益 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上収益 | 97,904 | 80,200 | 36,801 | 147,427 | 362,332 | 441 | 316 | 363,089 |
| セグメント間の 売上収益 | 426 | — | 1,711 | 2,556 | 4,692 | 755 | △5,447 | — |
| 計 | 98,330 | 80,200 | 38,511 | 149,983 | 367,024 | 1,196 | △5,132 | 363,089 |
| セグメント損益 | | | | | | | | |
| EBIT | 13,272 | 20,786 | 311 | 2,174 | 36,544 | △539 | △2,032 | 33,973 |
| 受取利息(注2) | 132 | — | — | — | 132 | — | 135 | 267 |
| 支払利息(注2) | — | △2 | △23 | △150 | △175 | △4 | 159 | △20 |
| 税引前四半期利益 | 13,404 | 20,784 | 289 | 2,024 | 36,501 | △543 | △1,739 | 34,219 |

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

②報告セグメントの損益合計額と要約四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| セグメント損益(EBIT) | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 報告セグメント計 | 28,484 | 36,544 |
| 「その他」の区分の損益 | △455 | △539 |
| セグメント間取引消去 | 106 | △115 |
| その他の調整額(注) | △1,038 | △1,917 |
| 要約四半期連結損益計算書計上額 | 27,096 | 33,973 |

(注)その他の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない全社損益であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期利益に対する実効税率を永久差異・税額控除・評価性引当金等を考慮して合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

①IFRS第9号(2014年7月改訂)「金融商品」の適用

当社は、当連結会計年度の期首よりIFRS第9号の「金融商品」(2014年7月改訂)を適用しております。本基準の適用による当社の財政状態及び経営成績に与える重要な影響はありません。

②IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用

当社は、当連結会計年度の期首よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。IFRS第15号の適用については、経過措置に準拠して遡及適用し、適用開始の累積的影響として利益剰余金75百万円を当連結会計年度の期首残高へ繰り入れております。本基準の適用による当社の財政状態及び経営成績に与える重要な影響はありません。

尚、本基準の適用にあたり、P.5「2.要約四半期連結財務諸表(1)要約四半期連結財政状態計算書」において、当期より「契約負債」の科目を追加しております。